

アクティベーターカイロプラクティック (AMCT) による腰痛治療成績

青柳大士*1

Hiroshi AOYAGI

1. はじめに

カイロプラクティックは自律神経を活性化させ、自然治癒力を発揮させることを目的としたアメリカ発祥の伝統伝承療法として知られ、WHO が認める代替医療である。世界 30 カ国以上で法制化されており、医師と同等の資格を持ち保険診療が認められるなど、世界的には治療効果、根拠ともしっかりした医療である。2004 年発行のヨーロッパの腰痛ガイドラインでは様々な代替療法がある中で、唯一腰痛に対する効果を認められ、推奨されている治療法でもある。(どのようなカイロプラクティックテクニックを用いたかは不明。) 本邦においては規制する法律、統一された資格制度すらなく、早急に整備が求められるところである。

カイロプラクティック院を訪れる患者は「痛み」を持つものがほとんどである。特に腰痛は最も多い症状の一つである。何となくいつも重だるく、痛むというような軽症から、整形外科等で加療したが良くならなくて困っている、ぎっくり腰で動けないというような重症まで様々な方が来院される。カイロプラクティックは痛みを軽減、消失させることを期待されているが、実際にはどのくらいニーズに答えられているのかは施術者の主観が入る事が多い。それらを客観的に評価することが必要と考えた。痛みに対する治療成績を評価するためには VAS スコアによる患者本人による自己評価が適すると考え、腰痛患者に対して初回治療前後、3 回治療後のスコアの変化を評価した。なお、今回行った VAS スコア記入の用紙は医師が日常使用しているものを頂き、コピーして使用した。

2. 方法

2.1 被験者

対象は平成 20 年 4 月 1 日～21 年 5 月 31 日の間に当院に初診で来院され、腰痛の主訴があり、アンケート集計に同意の得られた全てのクライアント。

年齢は 20 代～80 代、男女比約 1 : 1.5 総数 35 名。

2.2 方法と使用テクニック

来院後、当院独自の問診表に記入して頂き、腰痛の主訴が確認された方へアンケートの主旨を説明し同意が得られた方のみ、腰痛、下肢痛、下肢しびれについての VAS

スコアと「今日の腰痛のために」という 24 項目のアンケート (任意) を実施した。

治療にはアクティベーターメソッドカイロプラクティックテクニック (AMCT) を用いた (後述)。AMCT は米国でも広く用いられているカイロプラクティックテクニックの一つであり、ある程度のトレーニングによって誰でも大差なく実施できるテクニックである。一回の治療は時間にして 15 分～30 分程度で行った。

2.3 集計

患者に初回施術前、初回後、3 回治療後に腰痛に対する VAS スコアを評価させた。初回後は治療直後若しくは 2 回目治療前とした。初回のみしか来院せず評価できなかった 3 例は削除した。初回、2 回でスコアがゼロになった場合は来院されないものも以後ゼロとした。

2.4 施術：アクティベーターメソッドカイロプラクティックテクニック (AMCT)

AMCT は機能的短下肢による下肢長不等を検出し、アイソレーションテストという独自の検査法により矯正すべき箇所を判別、アクティベーター器というハンマー様の振動器具を用いて振動による矯正を行なう、最新のカイロプラクティックの一つである。触診のみに頼らず、生体からの神経反射を利用して矯正箇所を判別する為、熟練した者であれば施術者間の誤差が非常に少ないと言われている。明確な施術プロトコルが存在し、今回治療に用いたのもプロトコルを逸脱しない範囲での治療である。

2.5 統計分析

表 1 治療前後 VAS スコア

	治療前	初回後	3 回後	n
腰痛	6.33	2.42	0.77	32
臀部・下肢痛	5.50	2.54	0.5	14
下肢しびれ	5.17	1.67	0.5	6

3. 結果

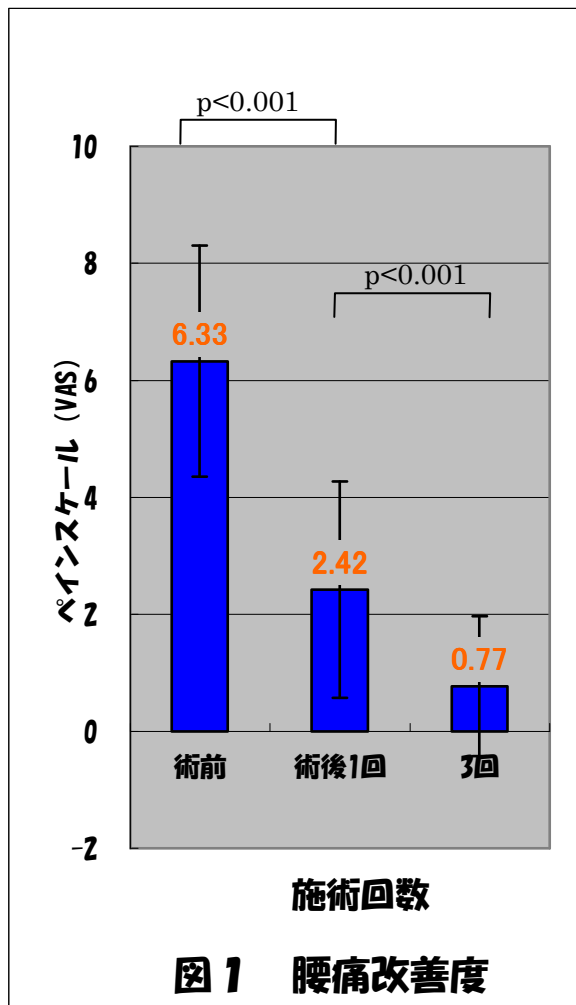
VAS スコアのアンケート結果を表 1、腰痛に対する VAS スコアを図 1 に示した。

初回治療前後での腰痛 VAS スコアは約 62% 低下。3 回治療後では約 88% の低下が確認された。臀部痛・下肢痛、下肢しびれにもそれぞれ同程度以上の改善が見られた。

4. 考察

腰痛治療 VAS スコアは初回後で平均半分以下、3 回後で平均 1 以下となり、AMCT は腰痛に対して非常に高い即効性と改善効果があると言える。腰痛に伴う殿部痛・下肢痛や下肢しびれに対しても同等以上の改善効果を認め、高い効果があると言える。

今回のアンケートでは、観測数が 32 例と少ないため、急性腰痛（3 か月以上連続しない腰痛）と慢性腰痛（3 か月以上連続した腰痛）を分けずに単に「腰痛」として集計している。一般に急性腰痛は肉体的原因がはっきりしている事が多く、劇的に良くなる事が期待されるが、慢性腰痛の原因にはストレスなどの存在も指摘されているようにカイロプラクティックだけでの劇的改善は難しいことが多いと考えられている。しかし、本調査では 32 例中 17 例が慢性腰痛であったことから、アクティベーターカイロプラクティックは急性・慢性どちらにしても「腰痛」に対して有効な治療法であると考えられる。



5. 結論

アクティベーターカイロプラクティック (AMCT) は腰痛と腰痛に伴う下肢痛・殿部痛・下肢しびれに対する自己評価 (VAS スコア) を有意に改善する。腰痛を感じた場合、速やかに AMCT を受けることにより、初回で症状の半減、3 回後ではほぼ気にならない程度までの回復が期待できる。

2004 年の腰痛に対するヨーロッパガイドラインでは急性腰痛、慢性腰痛とも、カイロプラクティック治療は効果があると実証され、推奨されている。(AMCT ではなく、どのようなテクニックを用いたのかは不明。) 今回の結果からも、日本においても腰痛に対し、AMCT は十分期待に応えられる可能性が高い。より多くの腰痛患者に受けてもらえるよう期待する。

6. 参考文献

- ・A・W・Fuhr : アクティベーターメソッドカイロプラクティックテクニック, 59-64, 2000
- ・Nguyen et al : 腹臥位伸展ポジションにおけるアクティベーターメソッドの相対的下肢長評価の内部検者信頼度 JMPT, 22(9) :565-9, 1999

青柳カイロプラクティックセンター 院長

《連絡先》青柳大士

〒231-0025

神奈川県横浜市中区松影町 2-7-21 社会文化会館 2F

電話/FAX : 045-662-8716

E-mail : hyagi7@yahoo.co.jp

追 : VAS スコアとは

想像できる最も激しい痛みを 10、痛みのない快適な状態を 0 としたとき、今の痛みがどのくらいであるかを患者自身に示してもらう点数。

【要約】

アクティベーターカイロプラクティックを初めて受ける新規の腰痛患者さんに対して、治療前後で痛みのスコアを評価したところ、急性、慢性問わず、左のグラフのように劇的に改善しました。

もっと多くの方に受けて頂きたいと思います。